



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



MCN REPORT

2023.12 vol.57



主体的に学ぶ姿勢を育てる

contents

アクティブ・ラーニングの取り組み	1
TOPICS	3
研究室訪問	4
連携協力協定機関紹介（伊賀市立上野総合市民病院）	5
大学の出来事	6

アクティブ・ラーニングの取り組み

主体的に学ぶ姿勢を育てる

本学は、カリキュラム・ポリシーにおいて、教育課程の実施にあたっては、学生の主体的な学習を促す教育方法を導入し、そのための環境づくりを行うことを宣言しており、各科目の授業では、学生が主体的に学ぶ姿勢を身に付けるための様々な工夫が取り入れられています。今回は、後期に開講する科目から、アクティブ・ラーニング（能動的学修）を実施している2科目をご紹介します。

PICK UP!

基礎看護技術Ⅱ

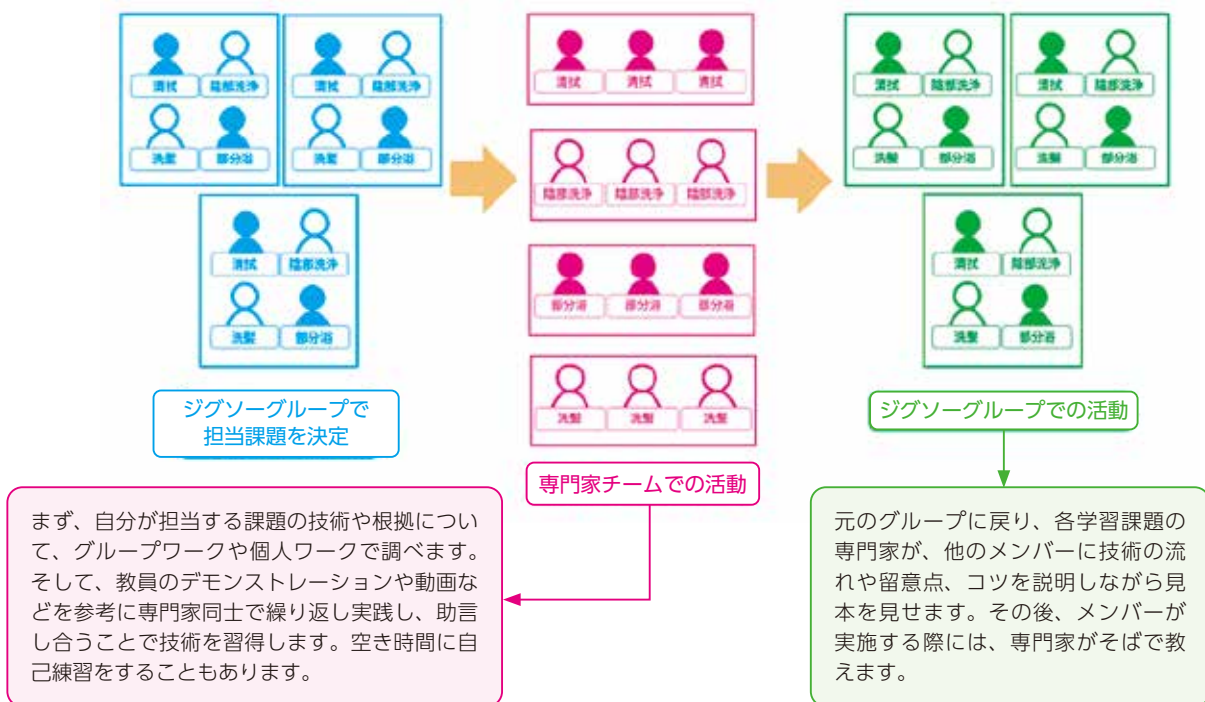
1年生が履修する「基礎看護技術Ⅱ」は、看護の対象者の生活上のニーズを満たすための看護援助について、科学的根拠に基づき安全・安楽に実施する技術を習得することを目的としています。本科目では、清潔援助技術（清拭、陰部洗浄、洗髪、部分浴）の技術習得にジグソー学習法を導入しています。



ジグソー学習法とは

グループの中で複数の学習課題を分担し、自分が担当となった課題について「専門家」として調べ、他人に教えられるレベルまで技術を習得します。その後、自分が担当した学習課題についてグループの他のメンバーに見本を見せたり、教えたりする学習法です。主体的な学習の促進や基礎看護技術の習得度を高めることが期待できるほか、相互交流による思考力・表現力・コミュニケーション力の向上や、自分の役割を果たすことにより責任感を高めることも導入のねらいです。

ジグソーの学習法のイメージ



▶ 教員によるデモンストレーション



▶ 専門家チームでの技術習得





PICK
UP!

総合課題探求 I

看護実践の場面では、倫理的な課題に自ら気付いて対応する力が必要です。そこで1年生が履修する「総合課題探求 I」では、「看護専門職として倫理的な視点から現象を捉え、行動できる基礎的能力を養うこと」を科目目的に掲げています。また、この能力をアクティブ・ラーニングにより育む方法として、学生間での相互的な学びを重視するピア・エデュケーション型のグループワークを取り入れて倫理的な課題の共同探求を行っています。

授業内容

本授業は全8回であり、受講生は、まず初回のイントロダクションで、倫理的な課題の共同探求の意義等を共有します。そして第2～5回では、検討する事例（以下参照）ごとにグループにわかれ、時間をかけてじっくり倫理的な課題を探求します。ここでの探求のプロセスは概ね、《(1) 各事例における「状況」を正しく理解するために「事例の登場人物はなぜ不安・違和感・葛藤をかかえたり、相互に意見が対立したりしているのか？」と問いつつ、その背景や原因を探り、(2) 興味深く重要であると思われる倫理的な課題を特定して問いを立て、(3) 問いの答えとなる倫理的な課題への対応（アプローチ）を探る》といった流れとなります。さらに第6回におけるポスター制作等の発表準備を経て、第7・8回では、各グループがそれぞれの探求内容を発表します。この発表会は2部構成で、第1部では、各グループの発表ポスターを見てまわりつつ質問を考え、第2部では、各グループが、上述の探求のプロセスに即しつつ、その探求内容について口頭発表を行います。

検討事例

- ① 医療従事者側の治療方針と患者側の治療選択との違い
- ② 「安楽死」を望む患者とその家族間における意見の対立
- ③ 出生前診断から、障害児の出生をめぐる親の不安について考える
- ④ 41歳の妊婦の悩み：羊水検査は必要か？
- ⑤ 認知症高齢者への身体拘束をめぐる葛藤
- ⑥ 社会的偏見のある病の家庭内・地域内の分断

▶ 発表会第1部



▶ 発表会第2部



学年を越えて共に学ぶ

本年度は1年生のみで実施しましたが、令和7年度から、本科目は4年生が履修する「総合課題探求 II」と同時開講され、1年生と4年生が同じグループで課題に取り組みます。看護実践の場面では、様々な職種・立場の人と共に課題に対応することが必要です。異なる学年の者が共に学ぶことで、多様な考え方を持つメンバーと交流し、前向きな議論ができるようになることもめざしています。今回、1年生として授業を受けた学生は、4年生で再び課題に取り組めます。その際には、今回学んだことを振り返るとともに、それまでに新たに培った知識や理解をもとに、取り組んでほしいと思います。

教室を改修しました！

本学では、主体的な学習のため、施設面での環境づくりにも取り組んでいます。

9月には、中講義室4室を固定式の机からグループワーク等を行いやすい可動式の机に改修しました。大講義室・多目的講義室を含め、学生が授業で使う主な教室は全て可動式の机となり、より柔軟な授業運営や自主学習が期待できます。



地域交流センター 教員提案事業

公立大学である本学は、地域貢献をその重要な使命のひとつとしており、地域交流センターはその役割を担う本学の中心機関です。すべての教員が専門性を活かして看護職者や県民の皆さまを対象とした様々な事業を実施しています。今回は、その中から2つの事業をご紹介します。

この他にもたくさんの事業を実施しています。ぜひ、本学HPをご覧ください！



PICK UP!

実践につながるフィジカルアセスメント

看護職者の方対象

担当者 岡根 利津 助教 (成人看護学 (急性))

本事業は、県内の認定看護師や呼吸療法士が講師を担い、コメディカルを対象とした呼吸ケアに関する研修を企画・開催しています。今年度は昨年度に引き続き、～いまさら聞けないフィジカルアセスメント～をサブテーマとして、バイタルサインを基本としたフィジカルアセスメントに関する研修を開催し、20名の方にご参加いただきました。

研修は、講義とワークショップを組み合わせながら進めることで、学んだ知識を実践につなげられるよう工夫しています。ワークショップでは、google form を活用しながら進めており、研修参加者からも「ワークショップは考えが深まり、他者の意見も知ることができて勉強になった」など好評をいただいています。

今後も活動を継続し、呼吸ケアに関する標準的な知識の普及とアセスメント力の向上につながる学習の機会を提供していきたいと考えています。



PICK UP!

暮らしの保健室

県民の方対象

担当者 平生 祐一郎 助教 (在宅看護学)



地域の方々の健康を支援することを目的に、月に1回「暮らしの保健室」を開催しています。貧血やストレス、骨密度などがチェックできるほか、希望者にはフットケアやアロマハンドマッサージもしています。また、看護職による健康相談や管理栄養士、薬剤師、歯科衛生士に相談できる機会を設けており、10月は三重県立公衆衛生学院から歯科衛生士の先生と学生をお招きし、咀嚼力を評価していただきました。口は栄養を摂取するだけでなく、呼吸をするときにも使っており、全身の健康と密に関わっています。歯科衛生士の専門家からお話が聞けたことで、改めて口の健康の重要性を再認識できました。

「暮らしの保健室」の開催日時は、大学ホームページに掲載しています。事前予約は必要ありませんので、お気軽にご参加ください。お待ちしております。

令和4年度業務実績に関する評価結果

本学は公立大学として、毎年度、三重県が設置する三重県公立大学法人評価委員会に業務実績についての評価を受けることとなっており、9月に令和4年度の業務実績に関する評価結果が公表されました。全体評価としては、「年度計画を計画どおり遂行しており、全体として中期計画を順調に実施している」と認められました。評価結果の詳細は、三重県のホームページでご覧いただけます。今回の評価結果を踏まえ、大学運営の一層の充実に取り組みます。





英語 ドライデン いづみ 准教授 にインタビュー

本学で「英語講読」や「医療と文学」などの科目を担当しているドライデンいづみ准教授に、専門の学問分野や現在取り組んでいる研究についてお聞きしました。

◎ 英文学がご専門とのことですが、英文学とはどのような学問ですか。

『クマのプーさん』、『ピーター・ラビット』、『ハリー・ポッター』など、英文学は私たちの身近に存在しています。これら作品の主人公が仲間たちと繰り広げる物語は、倫理・哲学・心理・コミュニケーション・社会・自然・環境問題・自己のアイデンティティーの探求等、人間が生きていく上で向き合わなければならない多くの課題を提示しています。英文学における物事の意義や本質の探求は、8世紀頃の叙事詩『ベオウルフ』に始まり、後の作家たち、例えば世界で最も有名なイギリス詩人・劇作家ウィリアム・シェークスピアにも継承され、シェークスピアから多大なる影響を受けた近代看護の母と呼ばれるフローレンス・ナイチンゲールにも引き継がれています。

◎ 現在、どのような研究をされていますか。

学生時代から現在に至るまで、音楽作家と呼ばれたイギリス人作家 E. M. フォースターの作品を継続研究しています。フォースターの大叔母ソーントンはナイチンゲールとも親交があり、ケンブリッジ大学にはナイチンゲールがソーントンに宛てた手紙が保管されています。現在、大の読書家・音楽愛好家であったナイチンゲールの書簡や文献を文学的・音楽的観点から分析する傍ら、ナイチンゲールと同時代の自然科学者であり医学に精通したチャールズ・ダーウィンの音楽に関する著書をナイチンゲールの音楽の考察と比較研究しています。ダーウィンもソーントンと親交があり、アメリカの奴隷制廃止に向けて共に活動していました。ダーウィンの著書『種の起源』や『人間の由来』は、実際にはダーウィンが祖父の進化論を発展させた奴隷制反対論です。ナイチンゲールは最初、ダーウィンの進化論に懸念を示していましたが、後にそういったダーウィンの奴隷制撤廃を主張する意志を理解して賛同するようになりました。それは、ソーントンと共にすべての人間は平等であるという考えや生命を尊重する二人の意見が一致したからです。二人は、シェークスピアから受け継いだ「万人のための」といった意志と人間に限らず生あるものすべてを敬う心を共有していました。二人は音楽からすべての生あるものが分かち合う調和の世界を学んだのかもしれませんが。

◎ 今後の研究の展望をお聞かせください。

シェークスピアにとって「音楽」は人生観の表象でした。シェークスピアが音楽とともに描く人間の心身状態や生と死、登場人物が自らの思いや心情を歌で表現する場面にナイチンゲールは深い感銘を受け、20～30代の頃に「自分は何者なのか、自分とは何であるのか」と自己のアイデンティティーを探求するに至りました。ナイチンゲールはシェークスピアの作品からも医学的知識を培い、生あるものを助けたいと生命に携わる看護の道を歩もうと決心したのではないかと考えています。イギリスの教育研究機関や医療機関には多くの未出版のナイチンゲールの文献・資料が保管されていますので、今後も調査研究を継続することで新しい発見やそこで得た知識を多くの方々と共に共有しながら看護教育の発展に貢献できることを願っています。



▲ケンブリッジ大学クライスツ・コレッジにて若かりし頃のダーウィン像と(2019年8月)



▲ナイチンゲールからソーントンへの手紙が保管されているケンブリッジ大学キングズ・コレッジにて(2004年8月)

連携協力協定機関紹介

伊賀市立上野総合市民病院

手で触れて、みて、考える看護の実践

「看護の基本に忠実で心のこもった看護を提供します」

伊賀市は三重県の北西部に位置し、豊かな自然や歴史・文化に恵まれた環境にあり、伊賀忍者発祥の地としても知られています。この地にある当院は三重県の西部地域の基幹病院として、全人的医療を提供し、広く市民に信頼される病院をめざしています。急性期病棟 194 床と地域包括ケア病棟 40 床があり、急性期治療を終えた後も安心して在宅療養ができるように多職種連携を図り支援しています。

看護部は、「手で触れて、みて、考える看護の実践」「看護の基本に忠実で心のこもった看護を提供します」を目標として掲げています。



シミュレーション研修



ベットサイドでの看護を重要視し、患者さんの身体のみならず心の痛みに触れ、根拠を持って考える看護ができる看護師育成をめざして経年別看護教育に力を入れています。認定や専門看護師資格取得のためには資金・待遇を含め全面的に支援を行っています。三重県立看護大学とは連携協力協定施設として看護の質の向上のための交流を持ち大学主催の研修に参加し、実習生の受け入れも行っています。

今後さらに多様化し続ける医療のニーズに対応できる看護師の育成ができるように、これからも看護教育・育成・人事交流などの連携を図っていきたく考えています。

(看護部長 中井 より子)

病院情報

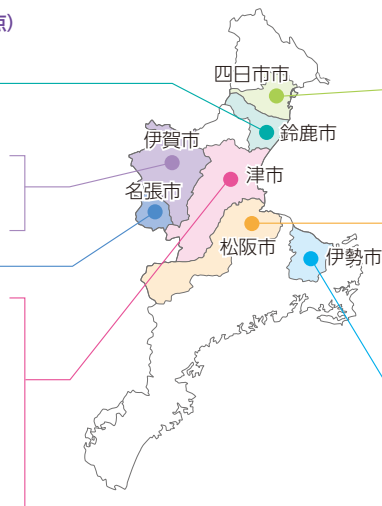
伊賀市立上野総合市民病院 (昭和 31 年 6 月 1 日 開設)

- 病床数：一般 281 床 (うち地域包括ケア病床 40 床)
- 診療科目：内科、脳神経内科、循環器内科、ペースメーカー外来、腫瘍内科、消化器・肝臓内科、呼吸器科、糖尿病内科、腎臓内科、外科、肝胆膵外科、乳腺外科、大腸肛門科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、腎泌尿器科、救急科、もの忘れ外来、炎症性腸疾患外来 (計 24 科)
- 職員数：職員数 375 人 (うち看護師 186 人) 令和 5 年 10 月 1 日現在

連携協力協定機関一覧

県内 13 病院・2 市 (令和 5 年 11 月 1 日時点)

- 三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院
- 社会医療法人畿内会 岡波総合病院
- 伊賀市立上野総合市民病院
- 名張市
- 三重県立こころの医療センター
- 独立行政法人国立病院機構三重病院
- 三重県立一志病院
- 津市
- 藤田医科大学七栗記念病院



- 地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
- 松阪市民病院
- 社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院
- 日本赤十字社 伊勢赤十字病院
- 市立伊勢総合病院



教育懇談会

9月2日(土)、保護者を対象とした教育懇談会を開催しました。近年は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで開催していましたが、今年度は4年ぶりに対面で開催することができ、36名の保護者、4市町の担当の方にご参加いただきました。学長、学生部長から学生の修学や生活、就職状況についての説明の後、保護者、市町の担当の方と教員が個別面談を行いました。保護者からは「大学の教育、国家資格の大切さを分かりやすく説明していただき、良かった」等の声をいただきました。



県内看護管理者意見交換会

看護管理者意見交換会は、地域に貢献する看護職者の育成と県内看護職者の支援を担う本学が、地域の医療機関のニーズを把握し連携を一層深めるために、毎年開催しています。今年度は、9月14日(木)に開催し、県内23病院の看護管理者の皆さまにご参集いただき、以下の内容で意見交換を行いました。



- ① 行政からの情報提供 「三重の医療を支える看護職員のキャリアサポートについて」
三重県医療保健部 医療人材課 看護職員確保班・副参事 金谷 康子 氏
- ② 学長による講話 「地元と協働できる看護大学の在り方」 学長 片田 範子
- ③ 本学からの情報提供 「令和7年度入学者選抜『多言語多文化選抜』について」 入試委員長 浦野 茂
- ④ 意見交換
・昨今の卒後1～2年目看護師の傾向とかかわり方
・中堅看護師のやりがいを引き出すための方策
- ⑤ まとめ

第2回公開講座

10月28日(土)、玉置 妙憂 氏(非営利一般社団法人 大慈学苑 代表)を講師にお招きし、「こころ穏やかに生きるために」をテーマに、公開講座を開催しました。

講演では、日常の前向きな意識づけやネガティブ思考を断ち切る方法など、こころ穏やかに生きるコツをお話いただき、参加者の皆さまからは、「心に響くお話だった」、「明日から今日より少し楽に生きられそう」、「明日からの励みになった」などの感想があり、好評でした。当日は、166名の県民の皆さまのご参加があり、また、本学同窓会の共催により、48名の卒業生・修了生の参加がありました。次回は、令和6年2月4日(日)です。皆さま、ぜひご参加ください。



第3回公開講座のお知らせ

日 時 令和6年2月4日(日) 13:10～14:40
場 所 三重県立看護大学 講堂
講 師 杉田 正明 氏(日本体育大学体育学部体育学科 教授)
講 演 「スポーツ界におけるコーチングについて～ジェンダーを超えて～」
定 員 先着300名 ※定員に達した場合、当日受付はありません。
申込期間 1月9日(火)～1月31日(水)
申込方法 右記のQRコードまたは電話のいずれかでお申込ください。
電 話 059-233-5610(地域交流センター)



講座の詳細につきましては、12月中旬ごろより本学ホームページにてご確認いただけます。皆さまのご参加をお待ちしております。

キャンパスのみかんを収穫しました!

10月24日(火)、本学の秋の恒例行事「みかん狩り」を行いました。みかんの木(品種名「みえ紀南1号」)は平成21年4月の地方独立法人化を記念し植樹され、毎年秋には多くの実をつけます。

当日は学生と収穫作業を行い、953個のみかんを収穫しました。みかんは学生や教職員に振舞われ、学生からは「甘くておいしい」との感想がありました。





地域医療支援病院
財)日本医療機能評価機構認定病院
「女性が働きやすい医療機関」認定医療機関
日本看護協会 DiNQL事業参加施設
三重県立看護大学連携協力協定病院



社会医療法人 機内会
岡波総合病院
Okanami General Hospital

救急医療から在宅ケアにいたるさまざまな場面で
看護の力を発揮し地域に貢献しています。



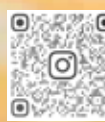
〒518-0121 三重県伊賀市上之庄2711番地1 TEL:0595-21-3135

ここには“やりがい”を持って
一人ひとり自分らしく成長できる
環境があります



独立行政法人 三重中央医療センター
国立病院機構

MIE CHUO MEDICAL CENTER, National Hospital Organization



さらなる発展と人材育成の充実に向けて
～学生支援のための基金への寄付のお願い～

平成 29 年 4 月の基金設立以降、初めて「みかん大進学支援給付金」制度を利用した学生 1 名が昨年度卒業し、看護師の夢を叶えて三重県内の医療機関で活躍しています。これもひとえに皆さまのお力添えのおかげです。心より感謝申し上げます。

「みかん大進学支援給付金」制度は三重県の保健・医療に貢献する意欲があり、進学の目的と意志が明確であるにもかかわらず経済的理由により進学が困難な学生を支援するための返還の必要のない入学時奨学給付金制度です。令和 5 年度も 5 名の新入生が本制度を利用しました。今後も皆さまのあたたかいご寄付を活用し、持続的な修学支援活動を行いたいと考えています。引き続き、本基金へのご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

寄付申出書によるご寄付のお礼

令和 5 年 4～9 月の間に 10 件、合計 374,000 円のご寄付を頂戴いたしましたこと、厚く御礼申し上げます。



ふるさと納税制度によるご寄付は、上記QRコードからお申込み願います。



本学マスコットキャラクター
「みかんちゃん」
三重県立看護大学の略「三看大（みかんだい）」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成 21 年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。

公立大学法人
三重県立看護大学

〒 514-0116
三重県津市夢が丘 1 丁目 1 番地 1
TEL 059-233-5600(代)
FAX 059-233-5666
<https://www.mcn.ac.jp/>



本学は、「大学基準協会」の定める大学基準及び「日本看護学教育評価機構」の看護学教育評価において「適合」の認定を受け、大学及び看護学教育の質について保証されています。